

3. 平成30年7月豪雨真備地区の被害

▶ 避難所の様子（園小学校）



間仕切りを設置
した避難所

園小学校

倉敷市撮影

14

3. 平成30年7月豪雨真備地区の被害

▶ 全国から寄せられた支援物資（体育館）



全国から寄せら
れた救援物資

真備総合公園体育館

倉敷市撮影

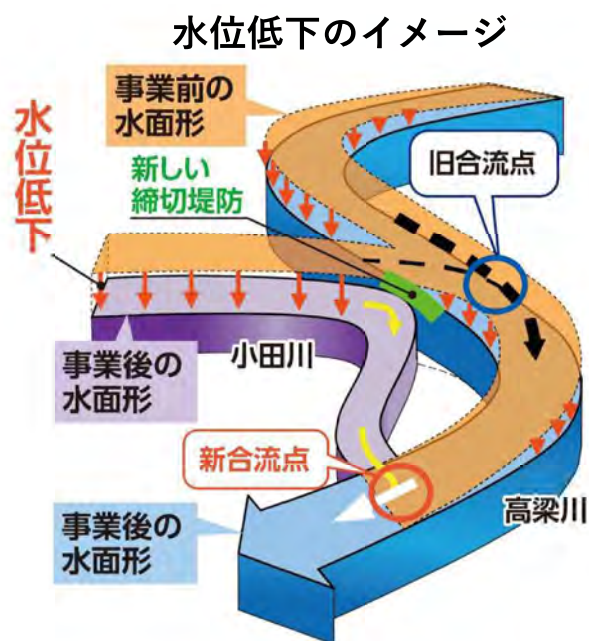
15

▶ 真備緊急治水対策プロジェクト（ハード対策）の概要



16

▶ 小田川合流点付替え事業の概要



17

▶ 小田川合流点付替え事業 完成後の現地状況



旧合流点の状況

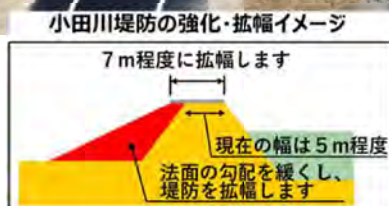


新合流点の状況



18

▶ 国と倉敷市が連携した小田川堤防強化（堤防断面の拡大）



19

3. 平成30年7月豪雨真備地区の被害

▶ 真備緊急治水対策プロジェクト完成式典（令和6年3月23日）



3. 平成30年7月豪雨真備地区の被害

▶ 復興のシンボル「まびふれあい公園」について



3. 平成30年7月豪雨真備地区の被害

▶ 復興のシンボル「まびふれあい公園」について



開園式典



イベントの開催



天皇・皇后両陛下のご訪問



22

4 田んぼダム事業の取組





▶ 倉敷市における田んぼダム推進の経緯①

「真備地区復興計画」

平成30年7月豪雨からの復興に向けた取組

豪雨により甚大な被害が生じた真備地区で復旧・復興の道標となる「真備地区復興計画」を策定

基本理念

豊かな自然と歴史・文化を未来へつなぐ真備～安心・きずな・育みのまち～

基本方針

方針1
経験を活かした
災害に強い
まちづくり

方針2
みんなで
住み続けられる
まちづくり

方針 3
産業の再興による
活力ある
まちづくり

方針4
地域資源の
魅力をのばす
まちづくり

方針5 支え合いと協働によるまちづくり

具体的な取組の一つとして「田んぼダムの調査・導入の検討」

大雨時に水田に水を貯留させて下流域の内水被害を軽減させる「田んぼダム」の導入について、大学との連携により、流域単位での田んぼダムの効果を検証し、さらなる取組の推進を図ります。（真備地区復興計画より参照）

24



▶ 倉敷市における田んぼダム推進の経緯②

「流域治水プロジェクト」

流域治水プロジェクトへの位置づけ

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

「田んぼダムの普及・啓発」を
倉敷市の取組として位置づける

对象区域

一級水系高梁川
(真備地区)

二級水系倉敷川
(早高地区等)



25

▶ 導入効果の調査



令和元年度に田んぼダムの導入効果の調査を実施

ほ場単位での効果を検証

田んぼダムに適した
地域や条件等を確認

新潟大学と現地調査
場所の選定・検証について
アドバイスを受ける

効果の検証実施



26

▶ 検証方法（湛水実験）



隣接した2つの田んぼそれぞれに水位計を設置。一方には流量調整のせき板を設置し、もう一方にはせき板を設置せず水を溜める。同時に排水を開始し、それぞれの排水完了時間を計測。その後、条件を反対にして同様の計測を行う。計測結果をもとに、平成30年7月豪雨時の場合における排水ピークカット効果を試算。

流量調整のせき板 設置なし



流量調整のせき板 設置あり



27

▶ **田んぼダム導入効果の調査結果**



排水のピークカットが
55%～65%（ほ場単位）



28

▶ **市独自の支援**



1 排水枴取替や畦畔補強を市で支援

2 田んぼダム用堰板を無償で提供

29